

## 平成 29 年度 第 3 回 大阪府立港南造形高等学校 学校協議会 議事録

日時：平成 30 年 3 月 7 日（水）午後 4 時 00 分～

場所：校長室 記録：羽鹿

### 1. 学校長挨拶

昨日、卒業した 13 期生は総合造形科となつてから初めて定員割れをした学年です。志願者数は次の 14 期生が 245 名、15 期生は志願者 197 名と、年度によって大きく上下する状態になっています。この状況を受け、昨年度末からプロジェクトチームを立ち上げ、「中学生への魅力発信」、「広報活動の強化」、「生徒の遅刻数の減少」ことを目標として掲げ、今年度よりこれらのことを実施しています。

「中学生への魅力発信」では SNS を使った学校情報の発信や制服の変更を行います。制服は純粋に「中学生にとって魅力あるもの」をめざし、来年度の入学生より導入いたします。

「広報活動の強化」では中学生の個別授業見学が大変好評であり、少人数で見学班をつくり、第 2 学年の領域選択科目（第 2 学年全員が 15 種類の領域科目を選択し受講）の授業見学を行います。少人数での授業見学ですから、大規模のオープンスクールの授業見学とは異なり、じっくりと見学をすることができました。

また、「生徒の遅刻数の減少」については、生徒指導部だけではなく、学年団等が協力をし、丁寧に指導した結果、前年度比で約 3 割の遅刻数の減少に成功しました。これらの成果については、プロジェクトチームの立ち上げが大きな役割を果たしたと考えています。

次に、昨年 11 月 16、17 日に本校が主催となり、全国美術高等学校協議会大阪大会を開催しました。1 日目は大阪迎賓館、2 日目は本校に会場を移して、鑑賞教育について、その方法や評価について話し合うことができ、非常に有意義な大会となりました。また、11 月 18 日には国立国際美術館で生徒同士の交流会があり、本校生徒が実行委員として活躍し、大変活発な交流会となりました。12 月 16 日には、大阪府立図書館でビブリオバトル大会があり、本校生徒が予選を 2 位で通過し、本戦出場という優秀な成績を残しました。

最後に、2 年目となる台湾研修旅行を年末に行い、姉妹校提携の台中第一高級中学校の生徒との交流も盛り上がりました。

皆様には最大の 6 年間の協議会委員をお勤めいただきありがとうございました。春からは新しい委員をお迎えし、心新たに励んでまいります。

### 2. 会長挨拶

校長挨拶にもあったように、6 年の任期も今回の協議会が最後ということになりました。ありがとうございました。

先日、私が勤務する大学で卒業制作がありましたが、港南造形高校出身の学生の作品は、

普通科高校を卒業した生徒と比べて、やはり良い作品が多かったように思います。ある港南造形高校の卒業生は、建築作品で奨励賞をとりました。この作品は、機能だけでなく、建築の枠を超える大変、面白いアイデア制作され、様々な分野の経験のある港南造形生だからこそその成果ではないかと思えます。全国でも珍しい美術系の大規模校であり、生徒確保も大変であると思えますが、今後も学校が充実する努力を続けていってほしいと願っています。

### 3. 協議

#### ① 平成 29 年度学校経営計画の評価について

##### 校長

「授業の在り方としてアクティブ・ラーニングが言われて久しい・・・」について、英語の授業で生徒が教師の代わりに教えるという取組みをするなど、様々な教科で工夫を凝らしている。

自己評価 イ. のアンダーラインの「授業での図書館利用や ITC 機器の活用が促進された。次年度も維持向上に努めたい。図書室及び ICT 機器の利用状況 5.8%増加」について、特に普通科の授業でそうしたことが進んでいる。

3 (ア) 「小・中学校の教員向けの実技研修会」にては、一定小中学校の先生方に浸透した。今後は他の方法を模索していく。

3 (エ) 「HP の充実」については、週に 1 回以上更新している。

##### 桑田委員

図書館利用は、かなり使われているようで、時間的にはそろそろアップか。ICT はまだ伸びしろがあるように思う。

#### ② 平成 30 年度学校経営計画（案）について

2. 中期的目標 1 の (1) (ウ) 「普通教科においても・・・」について、国語科のビブリオバトルや、社会科がリポートを取り入れた授業。また、数学科で黄金比について、生徒がチームで研究し発表、出題もし、良い問題の場合は定期考査にも取り入れる等の取組みを行っている。

##### 坂本委員

小中学校でタブレット端末を生徒が使う取組みに関わっている。小学校 3 年生の授業で自分の気に入った作品について、友人にプレゼンしている。中学校では知識理解に力がかかっているが、相互批評や発信する力をつけることも指導したいと考える。評価観点をしっかり設けるも大切。日頃から、そうしたことに取り組むことで、子どもの目が肥えてくる。本当の力になってくる。

##### 西野委員

大学でもプロデュース系に来る学生は中学、高校でも取り組んでいるせいか、非常

にプレゼン能力が高い。造形から来る生徒は見せ方の工夫であったりデザイン的なセンスであったり見どころがある。

#### 桑田委員

SNS での動画も効果があると思う。

#### 西野委員

中高、高大の連携は中々手間も時間もかかり大変だが、色々アイデアを出していくことが必要だと思う。

#### 桑田委員

大和川の河口は日本でも珍しく真西を向いている。本校取組みの陶板ロードを見てもらうような取組みもしてはどうか。

#### 校長

これからいろいろ試していきたい。

#### 桑田委員

今年度は全美協、近総文など、いろいろ重なって大変だったと思う。

#### 坂本委員

中学校の進路に情報提供してもらったから、対象生徒に届くかが非常に難しい。

#### 南山委員

SNS は生徒にダイレクトに届く手段。生徒への手厚さを考えると働き方改革を是非進めていただきたい。

#### 桑田委員

入学して来てくれた生徒やご家族はこの学校の良さが良くわかる。兄弟が続けて入学してくれることからよくわかる。一般の方々にもそれが伝わるような工夫をしていってもらいたい。

## 4. 報告

### ① 平成 29 年度の進路状況について

#### 高橋指導教諭

13 期生の進路状況一覧より、掲載の数字は合格者数であり、1 人で複数校合格している場合も含んでいる。今年、東京芸大 7 名、京都芸大 8 名、中期後期の入試を待機している生徒が 17 名いる。ここ近年の傾向として、関東の大学を受験する生徒が増えている。学校紹介の就職でも希望者の全員が内定をもらっている。

### ② 平成 29 年度学校教育自己診断結果について

質問項目の「自分の考えを人前で発表する機会がある。」は年々、数値が上がってきている。また、「学校の施設・設備は、授業や生活がしやすいように整備されて・・・」については、築 35 年の校舎の老朽化もあり、すぐ対応することが難しい部分もある。

### 西野委員

施設の老朽化は難しい 私もトイレ改革に取り組んだ。

#### ③ 学校説明会参加者の動向について

### 今西教諭

昨年までは年間5回、学校説明会を行っていたが、今年度は3回に減らし、新たに水曜の午後に個別学校説明会を実施。中学生だけで30名の参加があった。HPからの申し込みが全体の98%になっている。

SNSの効果を測るのは難しいが、港南造形高等学校を知らない先生もいるのであれば、直接、中学生に訴えるいみで効果があるのではないかと思う。来年度以降のアンケート項目に「学校選びで、何を参考にしたか」を追加する予定。

#### ④ 平成29年度授業アンケートの結果について

## 5. 連絡